

## 隠岐臨海実験所の担当授業に於ける現場の海洋生物と環境の持続的利活用 — 島根県隠岐諸島加茂湾に於けるプランクトン生物の多様性に関する研究 —

附属生物資源教育研究センター 准教授

丸山 好彦

### 研究成果の概要

島根県隠岐諸島加茂湾(サスカ地先の定点)で主として平成27年2月及び3月にプランクトンネット(100 $\mu$ mメッシュサイズ) 採集により得られた新鮮なプランクトン生物を隠岐臨海実験所に於いて観察した。その結果を報告する。観察には実体顕微鏡(倍率可変)あるいは明視野顕微鏡が使われた。和名・学名は山路(1966), 千原・村野(1997), 末友(2013), 及び西村(1995)に依った。観察例を記す。植物プランクトンとしては, チョウチンケイソウ *Ditylum brightwellii*, ナガトゲツツガタケイソウ *Rhizosolenia setigera*, タイココアミケイソウ *Coscinodiscus wailesii*, セボネケイソウ類 *Skeletonema* spp., フタコブツノケイソウ *Chaetoceros didymus*, *Chaetoceros denticulatum*, ムレツノケイソウ *Chaetoceros socialis*が観察され, 動物プランクトンとしては, コヒゲミジンコ *Paracalanus parvus*, *Paracalanus aculeatus*, ナイワンケンミジンコ *Oithona davisae*, ウミケンミジンコ *Oithona similis*, *Oithona atlantica*, オヨギソコミジンコ *Microsetella norvegica*, アカオヨギソコミジンコ *Microsetella rosea* が観察された。また, オオウミオオメミジンコ *Podon leuckarti*, ノルドマンエボシミジンコ *Evadne nordmanni*, オナガオタマボヤ *Oikopleura longicauda*, トロコフォア幼生, アクチノトロカ幼生, プルテウス幼生も観察された。その他, 非生物セストンとして, ソコミジンコ類の殻(スイツキミジンコ科 Porcellidiidae の脱皮殻と思われる)が観察された。なお, 植物プランクトンに関して3月に同様に観察した所, 中旬になると観察されたものがごく僅かになった。



参考：実験所艇庫前の調査場所

### 社会への貢献・その他

この研究成果は, 平成 27 年度中国四国地区生物系三学会合同大会(愛媛大学, 松山市)でポスター発表した。